

令和3年11月定例会

予算決算委員会会議録

長 崎 県 議 会

目 次

(1 1月2 9日)	
1、開催日時・場所	1
2、出席者	1
3、付議事件	2
4、経過	
分科会長報告	2
採決	2
5、審査結果報告書	5
(1 2月1 7日)	
1、開催日時・場所	7
2、出席者	7
3、付議事件	8
4、経過	
分科会長報告	8
採決	1 1
(1 2月2 1日)	
1、開催日時・場所	1 5
2、出席者	1 5
3、付議事件	1 6
4、経過	
分科会長報告	1 6
採決	1 7
5、審査結果報告書	1 9

令和3年11月定例会 予算決算委員会日程（結果）

月 日	曜	内 容 等
11月29日	月	委員会（分科会長報告・採決）
12月9日	木	分科会・常任委員会
12月10日	金	分科会・常任委員会
12月13日	月	分科会・常任委員会
12月14日	火	分科会・常任委員会
12月17日	金	委員会（分科会長報告・採決）
12月21日	火	委員会（分科会長報告・採決）

1 1 月 2 9 日

(分科会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所

令和3年11月29日

自 午前 11時00分
至 午前 11時04分
於 本 会 議 場

宮島 大典 君
大場 博文 君
宮本 法広 君
中村 一三 君
石本 政弘 君

2、出席委員の氏名

委 員 長 山本 由夫 君
副 委 員 長 ごうまなみ 君
委 員 八江 利春 君
" 田中 愛国 君
" 小林 克敏 君
" 中山 功 君
" 溝口 芙美雄 君
" 瀬川 光之 君
" 中島 廣義 君
" 徳永 達也 君
" 外間 雅広 君
" 堀江ひとみ 君
" 山田 朋子 君
" 浅田ますみ 君
" 西川 克己 君
" 山口 初實 君
" 川崎 祥司 君
" 前田 哲也 君
" 深堀ひろし 君
" 中島 浩介 君
" 山本 啓介 君
" 松本 洋介 君
" 吉村 洋 君
" 宅島 寿一 君
" 麻生 隆 君
" 山口 経正 君
" 近藤 智昭 君
" 坂本 浩 君

堤 典子 君
饗庭 敦子 君
久保田将誠 君
浦川 基継 君
北村 貴寿 君
山下 博史 君
下条 博文 君
中村 泰輔 君
赤木 幸仁 君
千住 良治 君
坂口 慎一 君

3、欠席委員の氏名

な し

4、委員外出席議員の氏名

な し

5、県側出席者の氏名

総 務 部 長 大田 圭 君
福 祉 保 健 部 長 寺原 朋裕 君

議会事務局職員出席者

議 会 事 務 局 長 松尾 誠司 君
次 長 兼 総 務 課 長 藤田 昌三 君
議 事 課 長 川原 孝行 君
政 務 調 査 課 長 濱口 孝 君
議 事 課 課 長 補 佐 永田 貴紀 君
議 事 課 係 長 山脇 卓 君

議事課係長 高見 浩 君
会計年度任用職員 天雨千代子 君

『コロナワクチンコールセンター』における、これまでの相談件数はどれくらいか。」との質問に対し、「3月15日の開設以来、11月23日までの実績で、8,178件の相談を受けている。」との答弁がありました。

6、付議事件の件名

第126号議案

令和3年度長崎県一般会計補正予算（第15号）

これに関連し、「その相談内容はどのようなものか。」との質問に対し、「主な内容としては、接種後の発熱や、痛みなど副反応に関する相談、接種の予約や、接種券の発行に関する相談、アレルギーや服薬など、接種前の不安に関する相談が多い。」との答弁がありました。

7、審査の経過次のとおり

午前 11時00分 開会

【山本（由）委員長】 ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

まず、今定例会における会議録署名委員を慣例により、私から指名させていただきます。

会議録署名委員は、八江委員、前田委員の両人をお願いいたします。

それでは、本委員会に付託されました第126号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第15号）」を議題といたします。

これより、分科会長から審査結果の報告を求めます。

浦川文教厚生分科会長。

【浦川文教厚生分科会長】 文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第126号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第15号）」であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

第126号議案について、「新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費」に関し、「『県

以上のほか、文教厚生関係の補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】 以上で、分科会長の報告が終了いたしました。

お諮りいたします。

第126号議案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】 ご異議なしと認めます。よって、直ちに採決いたします。

本議案は、分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】 ご異議なしと認めます。よって、第126号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

これをもちまして、本日の委員会は散会いたします。お疲れさまでした。

午前 11時04分 閉会

令和3年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第 126 号	令和3年度長崎県一般会計補正予算(第15号)				

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

令和3年11月29日

予算決算委員会委員長 山本 由夫

議長 坂本 智徳 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 126 号 議 案	令和 3 年度長崎県一般会計補正予算（第 1 5 号）	原案可決

計 1 件（原案可決 1 件）

1 2 月 1 7 日

(分科会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所	〃	宮島 大典 君
令和3年12月17日	〃	大場 博文 君
自 午前11時 0分	〃	宮本 法広 君
至 午前11時18分	〃	中村 一三 君
於 本 会 議 場	〃	石本 政弘 君
<hr/>		
2、出席委員の氏名	〃	堤 典子 君
委 員 長 山本 由夫 君	〃	饗庭 敦子 君
副 委 員 長 ごうまなみ 君	〃	久保田将誠 君
委 員 八江 利春 君	〃	浦川 基継 君
〃 田中 愛国 君	〃	北村 貴寿 君
〃 小林 克敏 君	〃	山下 博史 君
〃 中山 功 君	〃	下条 博文 君
〃 溝口芙美雄 君	〃	中村 泰輔 君
〃 瀬川 光之 君	〃	赤木 幸仁 君
〃 中島 □義 君	〃	千住 良治 君
〃 徳永 達也 君	〃	坂口 慎一 君
〃 外間 雅広 君	〃	清川 久義 君
〃 堀江ひとみ 君	<hr/>	
〃 山田 朋子 君	3、欠席委員の氏名	な し
〃 浅田ますみ 君	<hr/>	
〃 西川 克己 君	4、委員外出席議員の氏名	な し
〃 山口 初實 君	<hr/>	
〃 川崎 祥司 君	5、県側出席者の氏名	
〃 前田 哲也 君	危機管理監	多田 浩之 君
〃 深堀ひろし 君	企画部長	浦 真樹 君
〃 中島 浩介 君	総務部長	大田 圭 君
〃 山本 啓介 君	地域振興部長	早稲田智仁 君
〃 松本 洋介 君	地域振興部政策監	村山 弘司 君
〃 吉村 洋 君	文化観光国際部長	中崎 謙司 君
〃 宅島 寿一 君	文化観光国際部政策監	前川 謙介 君
〃 麻生 隆 君	県民生活環境部長	貞方 学 君
〃 山口 経正 君	福祉保健部長	寺原 朋裕 君
〃 近藤 智昭 君		
〃 坂本 浩 君		

こども政策局長	田中紀久美 君
産業労働部長	廣田 義美 君
産業労働部政策監	村田 誠 君
水産部長	斎藤 晃 君
農林部長	綾香 直芳 君
土木部長	奥田 秀樹 君
教育委員会教育長	平田 修三 君
会計管理者	吉野ゆき子 君
選挙管理委員会書記長	大塚 英樹 君
監査事務局長	下田 芳之 君
人事委員会事務局長 (労働委員会事務局長併任)	大崎 義郎 君
議会事務局長	松尾 誠司 君
警務部長	橋本 真和 君

議会事務局職員出席者

次長兼総務課長	藤田 昌三 君
議事課長	川原 孝行 君
政務調査課長	濱口 孝 君
議事課課長補佐	永田 貴紀 君
議事課係長	山脇 卓 君
議事課係長	高見 浩 君
会計年度任用職員	天雨千代子 君

6、付議事件の件名

第127号議案

令和3年度長崎県一般会計補正予算(第16号)

第128号議案

令和3年度長崎港湾施設整備特別会計補正予算(第2号)

第129号議案

令和3年度長崎県流域下水道事業会計補正予算(第1号)

報告第24号

令和3年度長崎県一般会計補正予算(第14号)

7、審査の経過次のとおり

午前11時 0分 開会

【山本(由)委員長】ただいまから、予算決算委員会を開きます。

これより、議事に入ります。

まず、委員席の一部変更を行います。

委員席の一部変更については、お手元に配付いたしております委員配席表のとおり決定いたします。

それでは、本委員会に付託されました、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算(第16号)」ほか3件を議題といたします。

これより各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

大場総務分科会長。

【大場総務分科会長】総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算(第16号)」のうち関係部分ほか1件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案は、いずれも異議なく、原案のとおり可決、承認すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました事項について、ご報告申し上げます。

第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算(第16号)」のうち関係部分について、警察本部関係の「警察管理費」に関し、「職員給与費に係る既定予算の過不足調整が約3億2千万円の減額となっており大きな額であるが、例年の調整の範囲内にな

っているのか。ほかに何か原因があるのか。」との質問に対し、「給与費の予算は、職員全体の人数で計算しているが、職員に中途退職した者や育児休業を取得した者などが出たことにより不用額が生じ、今回、減額を行ったものであり、例年と同様の額である。」との答弁がありました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】次に、文教厚生分科会長の報告を求めます。

浦川文教厚生分科会長。

【浦川文教厚生分科会長】文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項についてご報告申し上げます。

第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分に関し、「私立の中・高等学校において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予定していた修学旅行を急遽中止したことで発生したキャンセル料の負担を補助する経費」について、「私立高等学校で4,800,000円、中学校で200,000円の補助ということであるが、対象となる学校数はどれくらいあるのか。また、今回の補助の要件で、急遽中止したことで発生したキャンセル料とあるが、急遽というのには何か条件があるのか。」との質問に対し、「私立高等学校については21校、中学校については5校を予定している。新

型コロナウイルスの影響で、クラスターが発生し、急遽中止になった場合等、旅行の実施期間に応じてかかるキャンセル料を補助することとしている。」との答弁がありました。

これに関連し、「急遽中止となるまでの、事前の状況は色々あると考えるが、新型コロナウイルスの影響を理由として、修学旅行に行けなかった学校は全て補助の対象になるという理解でいいのか。」との質問に対し、「新型コロナウイルスの影響で、修学旅行をキャンセルせざるを得なかった学校については、全て補助の対象となる。実際に今年キャンセル料が生じた学校もあり、補助の対象としているところである。」との答弁がありました。

次に、「新型コロナウイルス感染症対策として、県立学校において修学旅行が中止となった場合に、発生したキャンセル料の補助に要する経費」について、「来年3月までに実施予定の学校において発生したキャンセル料が補助の対象となるのか。また、今年度、既に発生したキャンセル料も補助の対象となるのか。」との質問に対し、「今年度、既に修学旅行を中止した学校のキャンセル料、及び、今年度内に実施予定の学校のキャンセル料を計上しており、その全てが補助の対象となる。」との答弁がありました。

次に、「債務負担行為」について、「長崎県聴覚障害者情報センターの運営費について、年間約2千4百万円で5年間となっているが、年度毎の金額について、変更となる可能性はあるのか。また、指定期間については、5年間となっている理由はあるのか。」との質問に対し、「年度毎に、指定管理者の工夫によって、色々な取り組みが出てくるため、前年度に、運営費の額について協議を行い、決定するようにしている。指定期間については、県のガイドラインにより、

当該施設のように、より安定的な管理が必要で、特に専門性が求められる業務については、5年までとされている。」との答弁がありました。

以上のほか、文教厚生関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】次に、観光生活建設分科会長の報告を求めます。

中村一三観光生活建設分科会長。

【中村（一）観光生活建設分科会長】観光生活建設分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分ほか2件であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、いずれも異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項についてご報告いたします。

まず、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分について、土木部関係の「繰越明許費」に関し、「今回追加計上した繰越明許費の約40%が、地元調整に不測の日数を要したことによるものであるが、事前の準備が可能なものではないのか。」との質問に対し、「地元住民の方への丁寧な説明及び密な調整が必要であるが、施工業者との関連もあり、不測の日数を要しているものである。可能な限り事前調整に尽力するよう、各発注機関に対する指導についても強化していきたい。」との答弁がありました。

また、「人材不足で受注ができないことから、繰越せざるを得ない状況があるのではないかと考えるが、人材確保への取組は行っているのか。」との質問に対し、「本県建設業従事者の半数が50代以上であるという現状を踏まえると、将来的に深刻な人材不足に直面する恐れがあるため、今のうちから将来の担い手確保の取組が必要と考えている。このため、産学官の協議会を立ち上げ、平成27年度から、求人活動の強化、技術習得の支援、就労環境の改善などの取組を行っており、その成果が徐々に現れていると認識している。引き続き建設業の体制維持に取り組んでいく。」との答弁がありました。

以上のほか、観光生活建設関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際省略させていただきます。

以上で、観光生活建設分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】次に、農水経済分科会長の報告を求めます。

久保田農水経済分科会長。

【久保田農水経済分科会長】農水経済分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会が審査いたしました案件は、第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項についてご報告いたします。

第127号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）」のうち関係部分について、「長崎で輝く！人材マッチング事業費」に関し、「当

初予算において、債務負担行為を限度額6,870,000円で設定しているが、今回の補正で44,870,000円に増額した理由は何か。」との質問に対し、「県の就業支援施設である「長崎県人材活躍支援センター」については、現在、民間施設である長崎西洋館内で運営しており、当初予算では、施設賃借料に係る債務負担行為を設定していた。今回、センター業務のうち就業支援業務について、専門事業者に委託することとしたため、令和4年4月1日から実施の必要があり、契約準備期間を確保するため、今定例会において、補正予算を計上したものである。」との答弁がありました。

次に、「災害関連緊急治山費」に関し、「雲仙市小浜町小地獄地区の大雨災害においては、3名の尊い命が奪われ、民家2軒と宿泊施設に土砂が流れ込み、宿泊施設は未だ再開に至っておらず、早急な復旧工事が急務と考えるが、今後、具体的にどのような対策を進めていくのか。」との質問に対し、「まずは、応急対策と避難体制を整備しており、応急対策としては、土砂が流れ出さないための大型土のうの設置等を既に完了している。また、避難体制の整備については、亀裂箇所ワイヤーを設置し土砂が移動していないか観測しながら、異常が発生した場合は、早急な避難ができるように、メールと警報機で、地域住民や下方の宿泊施設、県・市へ自動で情報が届くよう、避難・連絡体制を強化している。なお、復旧工事については、現在、測量設計を行っており、今年度内に着手できるよう努めてまいりたい。」との答弁がありました。

これに対し、「速やかな対応に感謝するが、まだ、不安が続くのは明らかであり、住民が一刻も早く安心して暮らせる地域となるよう、復旧工事の早期着手に尽力していただきたい。」との意見がありました。

以上のほか、農水経済関係補正予算に関し、熱心な論議が交わされましたが、その詳細については、この際省略させていただきます。

以上で、農水経済分科会の報告といたします。委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】以上で、各分科会長の報告が全て終了いたしました。

お諮りいたします。

各議案は、質疑、討論を省略し、直ちに採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

各議案は、各分科会長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】ご異議なしと認めます。

よって、議案は、それぞれ、原案のとおり可決、承認すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

それでは、今任期中の予算決算委員会は、本日が最後になるかと存じますので、閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本年2月に、予算決算委員会の委員長を仰せつかりまして、ご副委員長をはじめ、委員の皆様方、理事者の皆様方のご協力を賜り、円滑に委員会を運営することができました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年来、新型コロナウイルスが世界中で猛威を奮い、本県におきましても、多くの方々の感染が確認されるとともに、観光業や飲食業をはじめ、各方面において、多大な影響が生じているところであります。また、この間、医療従事者の方をはじめ、エッセンシャルワーカー

の皆様にも感染拡大防止、生活維持に大変なご尽力をいただいております。改めて、敬意と感謝を申し上げる次第です。

県においては、国庫補助金等を活用しながら、新型コロナウイルスの感染防止対策、並びに、事業者、生活者支援等のため、各種施策を実施しているところであり、本委員会の総括質疑、分科会審査において、活発な論議を交わしてきたところであります。

新型コロナウイルス感染につきましては、国内においては、このところ、比較的落ち着いた状況で推移しておりますが、海外に目を転じますと、非常に厳しい状況の地域もあり、また、新たな変異株の影響が懸念されるなど、今後とも、十分な感染対策が必要であります。

本県は、厳しい財政状況の中、人口減少問題をはじめ、多くの課題を抱えております。このコロナ禍において、感染防止対策の徹底を図るとともに、疲弊した地域経済を活性化させ、県勢を浮揚させるには、議会と理事者が緊密に連携し、予算の重点化、効率化を図りながら、的確な施策を推進していくことが必要であります。

理事者並びに議員の皆様におかれましては、本委員会の論議も踏まえ、引き続きご尽力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と今後益々のご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。誠に、ありがとうございました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

— 午前11時18分 閉会 —

令和3年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第 127 号	令和3年度長崎県一般会計補正予算（第16号）				
	第 128 号	令和3年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第2号）				
	第 129 号	令和3年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第1号）				
報告議案	報告第24号	令和3年度長崎県一般会計補正予算（第14号）				

1 2 月 2 1 日

(分科会 長 報 告 ・ 採 決)

1、開催年月日時刻及び場所	〃	宮島 大典 君
令和3年12月21日	〃	大場 博文 君
自 午後 2時30分	〃	宮本 法広 君
至 午後 2時35分	〃	中村 一三 君
於 本 会 議 場	〃	石本 政弘 君

2、出席委員の氏名	〃	堤 典子 君
委員 長 山本 由夫 君	〃	饗庭 敦子 君
副委員 長 ごうまなみ 君	〃	久保田将誠 君
委員 八江 利春 君	〃	浦川 基継 君
〃 田中 愛国 君	〃	北村 貴寿 君
〃 小林 克敏 君	〃	山下 博史 君
〃 中山 功 君	〃	下条 博文 君
〃 溝口芙美雄 君	〃	中村 泰輔 君
〃 瀬川 光之 君	〃	赤木 幸仁 君
〃 中島 廣義 君	〃	千住 良治 君
〃 徳永 達也 君	〃	坂口 慎一 君
〃 外間 雅広 君	〃	清川 久義 君

3、欠席委員の氏名	なし
-----------	----

4、委員外出席議員の氏名	なし
--------------	----

5、県側出席者の氏名	
企画部長	浦 真樹 君
総務部長	大田 圭 君
福祉保健部長	寺原 朋裕 君

議会事務局職員出席者	
議会事務局長	松尾 誠司 君
次長兼総務課長	藤田 昌三 君
議事課長	川原 孝行 君
政務調査課長	濱口 孝 君

議事課課長補佐 永田 貴紀 君
議事課係長 山脇 卓 君
議事課係長 高見 浩 君
会計年度任用職員 天雨千代子 君

の報告を求めます。

浦川文教厚生分科会長。

【浦川文教厚生分科会長】 文教厚生分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第144号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第17号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以下、本分科会で論議のありました主な事項について、ご報告申し上げます。

まず、「PCR等検査無料化事業費」に関し、「県内のどこでも検査を受けることができるのか。」との質問に対し、「県内8つの医療圏のそれぞれで年内に開始できるよう調整しているところであり、県のホームページや薬局の窓口等で情報を提供してまいりたい。」との答弁がありました。

また、「ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業の実施期間が3月までと短いが、今後、どのような周知を行っていくのか。」との質問に対し、「事業の主な適用範囲として飲食店、イベント、観光があり、事業者に対しては、それぞれの担当部局でしっかり周知を行いたい。全体の概要については、県のホームページで周知していく。」との答弁がありました。

次に、「生活福祉資金貸付金」に関し、「新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、もともと収入が少ない方でも、働き口もなく、困っておられるが、貸付けの対象にはならないのか。」との質問に対し、「コロナの影響で、収入の減少があった世帯を対象としている。収入の変化がない場合については、今回の特例貸付けの対象にはならない。」との答弁がありました。

これに関し、「本当に困っておられる方もた

6、付議事件の件名

第144号議案

令和3年度長崎県一般会計補正予算（第17号）

7、審査の経過次のとおり

午後 2時30分 開会

【山本（由）委員長】 ただいまから、予算決算委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

それでは、本日、本委員会に付託されました第144号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第17号）」を議題といたします。

これより、各分科会長から審査結果の報告を求めます。

まず、総務分科会長の報告を求めます。

大場総務分科会長。

【大場総務分科会長】 総務分科会の審査結果について、ご報告いたします。

本分科会で審査いたしました案件は、第144号議案「令和3年度長崎県一般会計補正予算（第17号）」のうち関係部分であります。

慎重に審査いたしました結果、議案につきましては、異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

以上で、総務分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願いいたします。

【山本（由）委員長】 次に、文教厚生分科会長

くさんおられるので、そのような方への配慮も
お願いしたい。」との要望がありました。

以上のほか、文教厚生関係の補正予算に関し、
熱心な論議が交わされましたが、その詳細につ
いては、この際、省略させていただきます。

以上で、文教厚生分科会の報告といたします。

委員各位のご賛同をいただきますよう、お願
いいたします。

【山本（由）委員長】 以上で、各分科会長の報
告が終了いたしました。

お諮りいたします。

第144号議案は、質疑、討論を省略し、直ち
に採決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、直ちに採決いたします。

本議案は、各分科会長報告のとおり決するこ
とにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

【山本（由）委員長】 ご異議なしと認めます。

よって、第144号議案は、原案のとおり可決
すべきものと決定されました。

以上で、本委員会に付託されました議案の審
査は終了いたしました。

これをもちまして、予算決算委員会を閉会い
たします。お疲れさまでした。

午後 2時35分 閉会

令和3年11月定例会 予算決算委員会付託議案一覧表

区 分	議案番号	案 件 名	分科会審査			
			総務	文教 厚生	観光 生活 建設	農水 経済
予算議案	第 144 号	令和3年度長崎県一般会計補正予算(第17号)				

予算決算委員会審査結果報告書

本委員会に付託された事件について審査の結果、下記のとおり決定したので報告する。

令和3年12月21日

予算決算委員会委員長 山本 由夫

議長 坂本 智徳 様

記

1 議 案

番 号	件 名	審査結果
第 127 号 議 案	令和 3 年度長崎県一般会計補正予算（第 1 6 号）	原案可決
第 128 号 議 案	令和 3 年度長崎県港湾施設整備特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
第 129 号 議 案	令和 2 年度長崎県流域下水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
第 144 号 議 案	令和 3 年度長崎県一般会計補正予算（第 1 7 号）	原案可決
報 告 第 24 号	令和 3 年度長崎県一般会計補正予算（第 1 4 号）	承 認

計 5 件（原案可決 4 件、承認 1 件）

委員 長 山 本 由 夫

副 委 員 長 ご う ま な み

署 名 委 員 八 江 利 春

署 名 委 員 前 田 哲 也

書 記 高 見 浩

速 記 (有)長崎速記センター